



2021年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月11日

上場会社名 PCIホールディングス株式会社
 コード番号 3918 URL <https://www.pci-h.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 天野 豊美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 井口 直裕

TEL 03-6858-0530

四半期報告書提出予定日 2021年5月14日

配当支払開始予定日

2021年6月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績(2020年10月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	8,207	5.2	372	12.3	394	10.5	214	99.5
2020年9月期第2四半期	8,661	6.8	424	9.7	441	13.0	107	43.7

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 200百万円 (149.0%) 2020年9月期第2四半期 80百万円 (36.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	26.07	26.05
2020年9月期第2四半期	13.09	

(注) 1. 2020年9月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期第2四半期	18,573	5,509	27.3	615.12
2020年9月期	12,442	5,427	40.4	609.61

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 5,066百万円 2020年9月期 5,021百万円

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		30.00		16.00	
2021年9月期		15.00			
2021年9月期(予想)				16.00	31.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、2020年9月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式分割を行う影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」としております。

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,200	26.5	950	26.6	965	19.9	525	83.0	63.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) 株式会社ソード、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期2Q	8,522,400 株	2020年9月期	8,522,400 株
期末自己株式数	2021年9月期2Q	285,038 株	2020年9月期	285,006 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期2Q	8,237,372 株	2020年9月期2Q	8,225,804 株

(注)当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2021年5月12日(水)にアナリスト・機関投資家向け説明会(Web配信)を開催する予定です。この説明会で配信する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年10月1日～2021年3月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による企業収益の減少・雇用情勢の悪化が継続し、段階的な経済活動の再開により一部持ち直しの動きが見られたものの、依然として厳しい状況下で推移いたしました。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、IoT(※1)、IoE(※2)、人工知能(AI)等の先端技術を活用したデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進に加え、新型コロナウイルス感染症対策に伴う、テレワーク導入企業の増加によるITインフラ整備・強化、医療ICT化促進、サイバー攻撃等の脅威に対する情報セキュリティ対策強化への優先的な投資傾向がみられ、IT投資需要は底堅く推移いたしました。一方で、IT技術者不足は常態化しており、人材確保が継続的な課題となっております。

このような状況下において、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の影響による経済・社会の不可逆的なビジネスモデル・産業構造の変化及び生活者変化を捉え、社会全体のデジタル化の加速による新規需要の取り込みを図ってまいりました。また、2020年10月1日付で株式会社シー・エル・シーを存続会社としてサイバーセキュリティ事業を営むSafer Connected World株式会社と合併し、巧妙化・複雑化するサイバー攻撃に対応する情報セキュリティビジネスに注力する等、社会的課題の解決と「安心・安全・豊かな社会」を目指した事業展開を推進してまいりました。また、2021年1月には、組込みパソコン、コントローラー及び周辺機器の開発、設計、製造等のエンベデッドソリューション事業を展開する株式会社ソードを完全子会社化する等、事業規模拡大に向けた各種施策に取り組んでまいりました。なお、新たに連結子会社となった株式会社ソードは、みなし取得日を2021年3月31日としているため、同社の業績は当第2四半期連結累計期間における連結損益計算書には含まれておりません。一方で、ビジネスソリューション事業のうち文教系分野において、新型コロナウイルス感染症の長期化により顧客の予算計画変更の影響を受けたこと、また、同事業の企業向け分野において不採算案件が発生したことにより、利益を押し下げる結果となりました。

当社は、2020年11月13日に公表いたしました当事業年度を初年度とする3ヶ年の中期経営計画「PCI-VISION 2023」に基づき、持続的成長を目指して事業活動を推進しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は8,207百万円(前年同期比5.2%減)、営業利益は372百万円(前年同期比12.3%減)、経常利益は394百万円(前年同期比10.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は214百万円(前年同期比99.5%増)となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(ITソリューション事業)

ITソリューション事業につきましては、売上高は5,922百万円(前年同期比9.5%減)となり、セグメント利益は268百万円(前年同期比30.1%減)となりました。

以下では、ITソリューション事業における概況と売上高を主要区分別に示します。

① エンベデッドソリューション

第1四半期において、顧客企業の予算縮小等の影響を受けて自動車関連案件の新規受注が減少したものの、第2四半期以降は回復傾向がみられました。また、企業のテレワーク導入による通信インフラ強化を受け、ルーター開発等のネットワーク関連案件が増大した他、制御装置開発案件が堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は2,470百万円(前年同期比4.8%減)となりました。

② ビジネスソリューション

企業向け分野において、ソフトウェア開発における社会インフラ構築案件及び公共事業者向け案件が堅調に推移いたしました。しかしながら、メインフレーム分野において、ハイエンドストレージ案件を含めた大型案件の寄与があった前年同期には及ばなかったこと及び文教系分野において、新型コロナウイルス感染症の長期化により顧客の予算計画変更の影響を受けたこと、企業向け分野の一部の開発案件において不採算案件が発生したこと等により、ビジネスソリューションの売上高は3,452百万円(前年同期比12.6%減)となりました。

(IoT/IoEソリューション事業)

IoT/IoEソリューション事業につきましては、売上高は1,269百万円(前年同期比4.8%増)となり、セグメント利益は62百万円(前年同期比163.1%増)となりました。

利益率の高い事業者識別番号を活用した通信事業が好調に推移し、売上及び利益に寄与いたしました。また、グループ内再編によるセキュリティソリューションの販売強化に注力いたしました。

(半導体トータルソリューション事業)

半導体トータルソリューション事業につきましては、売上高1,033百万円(前年同期比13.2%増)となり、セグメント利益は54百万円(前年同期比1700.9%増)となりました。

既存顧客からのLSI検証案件及びテスト案件の引合い増加が継続し、売上に大きく寄与した他、協業企業との連携により、FPGA(※3)開発案件及びソフト開発案件を受注する等、総じて好調に推移いたしました。また、新技術の開発及び自社製品の実用化に向けて継続的な研究開発投資を実行いたしました。

(注) 上記に用いられる用語の説明は以下のとおりであります。

(※1) IoT: (Internet of Things)

コンピュータ等の情報・通信機器だけでなく、様々な「モノ」に通信機能を持たせ、インターネットに接続、相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測等を行うこと。

(※2) IoE: (Internet of Everything)

IoTよりも広い概念であり、ヒト・モノ・プロセス・データ等がインターネットにつながり、相互に通信が可能となる技術や状態、仕組みのこと。

(※3) FPGA: (Field-Programmable Gate Array)

製造後に購入者や設計者が構成を設定できる集積回路のこと。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、18,573百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,131百万円増加いたしました。これには、株式会社ソードの新規連結による資産の増加が含まれております。

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金1,635百万円、電子記録債権1,282百万円の増加等により、前連結会計年度末に比べ3,721百万円の増加となりました。

固定資産につきましては、有形固定資産738百万円の増加、無形固定資産1,286百万円の増加、投資その他の資産385百万円の増加により、前連結会計年度末に比べ2,409百万円の増加となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、13,063百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,048百万円増加いたしました。これには、株式会社ソードの新規連結による負債の増加が含まれております。

流動負債につきましては、買掛金1,262百万円、電子記録債務401百万円、短期借入金3,500百万円、その他430百万円の増加等により、前連結会計年度末に比べ6,023百万円の増加となりました。

固定負債につきましては、資産除去債務382百万円、その他72百万円の増加の一方で、長期借入金393百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ25百万円の増加となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は5,509百万円となり、前連結会計年度末に比べ82百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益214百万円、連結範囲の変動等による非支配株主持分28百万円の増加の一方で、配当金の支払131百万円、その他有価証券評価差額金36百万円の減少があったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は27.3%(前連結会計年度末は40.4%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、各キャッシュ・フローと新規連結に伴う資金の増加43百万円の結果、前連結会計年度末に比べ637百万円減少し、4,181百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は295百万円(前第2四半期連結累計期間は643百万円の収入)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益395百万円を計上した一方で、売上債権の増加121百万円、仕入債務の減少147百万円、未払消費税等の減少166百万円、法人税等の支払額295百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は3,315百万円(前第2四半期連結累計期間は63百万円の支出)となりました。

これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出3,090百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は2,928百万円(前第2四半期連結累計期間は48百万円の支出)となりました。

これは主に、短期借入金の純増額3,500百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出318百万円、社債の償還による支出106百万円、配当金の支払額131百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の連結業績予想につきましては、2021年3月23日付にて公表いたしました「通期連結業績予想の上方修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,831,902	4,193,949
受取手形及び売掛金	2,978,135	4,613,611
電子記録債権	314,056	1,596,994
たな卸資産	219,025	1,028,055
その他	282,539	914,728
流動資産合計	8,625,660	12,347,339
固定資産		
有形固定資産	260,392	998,584
無形固定資産		
のれん	979,710	2,409,711
その他	375,822	231,924
無形固定資産合計	1,355,533	2,641,636
投資その他の資産		
投資有価証券	1,385,787	1,459,542
その他	814,619	1,126,021
投資その他の資産合計	2,200,407	2,585,564
固定資産合計	3,816,333	6,225,784
繰延資産	21	—
資産合計	12,442,015	18,573,124
負債の部		
流動負債		
買掛金	950,880	2,213,181
電子記録債務	—	401,138
短期借入金	200,000	3,700,000
1年内償還予定の社債	106,250	5,000
1年内返済予定の長期借入金	619,952	735,478
未払金	369,431	591,185
未払法人税等	226,809	67,168
賞与引当金	335,718	710,159
役員賞与引当金	26,061	10,303
受注損失引当金	1,430	5,670
アフターコスト引当金	—	750
資産除去債務	10,122	—
その他	741,566	1,171,783
流動負債合計	3,588,221	9,611,820
固定負債		
長期借入金	2,753,334	2,359,666
役員退職慰労引当金	46,068	10,670
退職給付に係る負債	159,958	158,543
資産除去債務	72,115	454,970
その他	394,599	467,522
固定負債合計	3,426,074	3,451,373
負債合計	7,014,295	13,063,193

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,046,232	1,046,232
資本剰余金	2,648,772	2,646,375
利益剰余金	1,632,236	1,716,630
自己株式	△370,604	△370,644
株主資本合計	4,956,637	5,038,594
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,958	28,385
その他の包括利益累計額合計	64,958	28,385
新株予約権	10,015	18,355
非支配株主持分	396,106	424,595
純資産合計	5,427,719	5,509,930
負債純資産合計	12,442,015	18,573,124

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	8,661,344	8,207,653
売上原価	6,354,753	6,002,002
売上総利益	2,306,590	2,205,651
販売費及び一般管理費	1,882,078	1,833,360
営業利益	424,512	372,291
営業外収益		
受取利息及び配当金	11,853	11,560
助成金収入	6,012	20,610
その他	10,390	5,742
営業外収益合計	28,256	37,913
営業外費用		
支払利息	7,173	11,027
支払手数料	421	404
投資事業組合運用損	3,691	2,781
その他	414	1,022
営業外費用合計	11,702	15,236
経常利益	441,067	394,968
特別利益		
固定資産売却益	500	—
リース解約益	—	633
特別利益合計	500	633
特別損失		
固定資産除却損	216	—
投資有価証券評価損	199,610	—
その他	6,366	—
特別損失合計	206,192	—
税金等調整前四半期純利益	235,374	395,601
法人税、住民税及び事業税	212,998	153,305
法人税等調整額	△100,660	5,502
法人税等合計	112,338	158,808
四半期純利益	123,035	236,793
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,386	22,075
親会社株主に帰属する四半期純利益	107,649	214,717

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	123,035	236,793
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,628	△36,573
その他の包括利益合計	△42,628	△36,573
四半期包括利益	80,407	200,219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	65,020	178,144
非支配株主に係る四半期包括利益	15,386	22,075

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	235,374	395,601
減価償却費	52,123	56,074
のれん償却額	52,290	52,870
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△266	△1,176
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	9,445	4,240
賞与引当金の増減額 (△は減少)	160,004	56,990
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,446	△15,758
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,260	△46,068
固定資産除却損	216	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	199,610	—
投資事業組合運用損益 (△は益)	3,691	2,781
受取利息及び受取配当金	△11,853	△11,560
助成金収入	△6,012	△20,610
支払利息	7,173	11,027
支払手数料	421	404
売上債権の増減額 (△は増加)	544,450	△121,274
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△25,826	△12,779
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,833	△147,227
未払金の増減額 (△は減少)	△379,419	△71,854
未払消費税等の増減額 (△は減少)	77,025	△166,463
長期未払金の増減額 (△は減少)	△20,000	41,105
その他	△157,991	△30,736
小計	739,105	△24,410
利息及び配当金の受取額	11,516	11,536
利息の支払額	△6,968	△12,856
助成金の受取額	6,012	20,610
法人税等の支払額	△144,542	△295,317
法人税等の還付額	38,289	5,049
営業活動によるキャッシュ・フロー	643,411	△295,388
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,284	△21,427
無形固定資産の取得による支出	△13,391	△32,942
資産除去債務の履行による支出	△140	△10,200
投資有価証券の取得による支出	△22,200	△140,889
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△3,090,148
敷金及び保証金の差入による支出	△1,163	△10,436
敷金及び保証金の回収による収入	863	32
保険積立金の積立による支出	△6,128	△6,128
定期預金の純増減額 (△は増加)	△3,001	△3,001
その他	△929	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63,375	△3,315,143

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	360,000	3,500,000
長期借入金の返済による支出	△387,214	△318,142
社債の償還による支出	△118,750	△106,250
自己株式の取得による支出	△58	△40
配当金の支払額	△123,333	△131,520
非支配株主への配当金の支払額	△16,019	△14,172
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	238,200	—
その他	△1,393	△981
財務活動によるキャッシュ・フロー	△48,568	2,928,893
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	27
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	531,475	△681,611
現金及び現金同等物の期首残高	3,186,721	4,819,861
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	43,658
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,718,197	4,181,908

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。